

2012 アートマイル 報告書

日本学校名 [岡崎城西高等学校] 担当教諭名 [武政 晴信] (国際協力部 9名)
 交流相手国 [ルワンダ]
 海外学校名 [Nyagatare Secondary School] 担当教諭名 [相川 武士]

■実施教科・時間数について教えてください。

実施教科・時間数	教 科	単 元 名	時 間 数
アートマイルに関連した時間 (総合は外国語活動、環境 など内容が分かるように。 必要に応じて行を追加して ください。)	部活動	国際理解	36

■作品について教えてください。

題 (テーマ)	日本とルワンダをつなぐ道
絵に込めたメッセージ	日本の建物や風景、学校生活の様子などを SKYPE を通して情報交換を行い、絵のデザインに取り入れようと話し合った。 お互い進路を決める年頃ということもあり、同じ地球でありながら遠い場所に住んでいる自分たちの将来が、広い世界のどこかでつながると素敵だろうという思いを込めて描いた。



■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"> ・相手のことを考えながら描くことができた。 ・遠く離れていても、言葉や文化が違って通じ合えた喜びを感じることができた。 ・語学に関心を持つことができた。 ・異国文化に関心を持つことができた。 	卒業式に間に合わず、全体での鑑賞ができていない。 削れる時間は削り、日本国内での時間短縮を目指す。

■アートマイルの活動を周りにお知らせしましたか？ 周りの反響はどうでしたか？

担当教諭や子どもたちによる広報	校内・保護者や地域の方からの反響
春休み直前の到着だった為、全校には公開できていない。	新学期から公開し、PTA 総会でも紹介する予定。

■主な活動の流れを教えてください。

場面	時期	活動内容	児童生徒の反応	実施教科
導入	9月	相手国についての調べ学習	自分たちが関心のあることをそれぞれ分担しての調べ学習。仲間同士で説明し合うため、責任感も育ち、説明のための工夫も生まれた。	部活5
情報収集	10月	英語でのフォーラムでの自己紹介と日本や学校の紹介	相手と自分たちの何が違うかを予想し、相手の驚きを期待しながら自国について学習。	部活8
テーマ検討	11月	SKYPE による TV 会議 ・Face to face で気持ちを近づける ・直接会話で構図やテーマ決め	もっと話したい、相手の気持ちを受け取りたいという思いから、英語への関心が伸びた。また、相手国についての関心も深まった。	部活5
制作	12月	・グループごとに分かれて絵を描き進めた	熱心書いていた。 他のグループの担当場所にも積極的に関わっていた	部活16
鑑賞	2月	共同制作した絵の鑑賞	予想しなかった相手の絵に、驚きと喜びを感じていた。	部活2

■学習目標と成果はどうでしょうか？

つきたい力・指導目標	重視	先生の手応え	そう感じた場面・理由
自文化の理解	5	5・4・③・2・1	相手を驚かせるために、自国について他国と比較しながら情報を集めることができた。
異文化の理解	1	⑤・4・3・2・1	同世代でありながら、同じ地球上に全く違う生活があると意識することができた。
コミュニケーション力 (説明・共感・英語)	2	5・④・3・2・1	英語への関心が深まった。仲間同士、この絵を見る人たちへのわかりやすい工夫を考えることができた。
情報活用能力 (情報収集・発信)	4	5・4・③・2・1	部活外の時間まで相手について調べたり、自国や学校についての紹介のため情報を集めることができた。
人間関係をつくる (学級内・交流相手)		5・④・3・2・1	事前学習をしたり、相手のプロフィールを準備して TV 会議に臨み、交流を深めることができた。
協働する力 (役割分担・協力)		⑤・4・3・2・1	仲間同士の都合(放課後演習や受験など)を考えながら、遅れているところを互いに補いながら絵を完成させた。
学習を追究する意欲	3	⑤・4・3・2・1	語学、異国文化についての関心が深まった。
表現力 (伝えたいことを絵で表す)		5・④・3・2・1	リーダーに従い、気持ちをひとつにして絵を完成することができた。
作品を鑑賞する力		⑤・4・3・2・1	相手をイメージしながら鑑賞することができた。